

富山市財政の健全化判断比率などをお知らせします

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律(地方財政健全化法)」に基づき、富山市財政の令和元年度における「健全化判断比率」「資金不足比率」を公表します。

圖財政課 ☎443-2146

◆富山市の健全化判断比率、資金不足比率

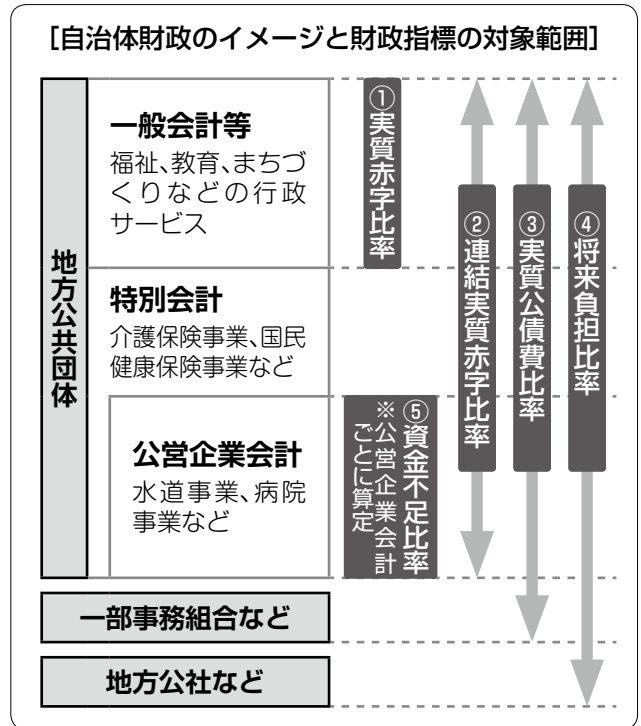
		平成30年度 決 算	令和元年度 決 算	早期健全化基準 (経営健全化基準)
健全化 判断 比率	①実質赤字比率	—	—	11.25%
	②連結実質赤字比率	—	—	16.25%
	③実質公債費比率	9.6%	8.5%	25.0 %
	④将来負担比率	118.9%	125.5%	350.0 %
	⑤資金不足比率	—	—	20.0 %

※「—」は、①②においては赤字額がないことを、⑤においては対象となる全ての会計で資金不足額がないことを示しています。

※①②における早期健全化基準は、自治体の財政規模により異なります。

健全化判断比率の4つの指標と資金不足比率(①～⑤)の各指標が、国の早期健全化基準(資金不足比率の場合は経営健全化基準)以上となった場合、改善が必要な状態とみなされ、財政健全化計画(経営健全化計画)を策定することが義務付けられています。

富山市の令和元年度決算では、①～⑤の各指標は、国の基準を下回りました。



基本的な会計の赤字はどのくらい？

① 実質赤字比率 ▶ 赤字はありません

「実質赤字比率」は、福祉、教育、まちづくりなどの行政サービスを行う一般会計等について、歳出に対する歳入の不足額(いわゆる赤字額)が、標準財政規模^(※)に占める割合です。この比率が高くなるほど、赤字の程度が大きいということになります。

令和元年度決算では、一般会計等は赤字ではなかったことから、実質赤字比率は「無し」となっています。

(※) 標準財政規模…地方公共団体の標準的な収入である市税や普通交付税などの1年間の一般財源の合計額

富山市全体で赤字はどのくらい？

② 連結実質赤字比率 ▶ 赤字はありません

「連結実質赤字比率」は、一般会計等のほか全ての会計の赤字額が、標準財政規模に占める割合です。市全体としての赤字の程度を表します。

令和元年度決算では、本市全体の合計数値は赤字ではなかったことから、連結実質赤字比率は「無し」となっています。

借金の返済などへの支払いはどのくらい？

③ 実質公債費比率 ▶ 8.5%

「実質公債費比率」とは、一般会計等の借入金(地方債)の返済額やこれに準じる額(公営企業会計の公債費にあてる繰出金)などが、標準財政規模を基本とする額に占める割合を指標化し、資金繰りの程度を示すものです。

令和元年度決算の比率は、8.5%で、早期健全化基準である25.0%を下回っているほか、地方債の発行に総務大臣等の許可が必要となる18.0%を下回っています。

平成30年度決算での比率(9.6%)と比較すると、1.1ポイント改善しました。

今後見込まれる負担はどのくらい？

④ 将来負担比率 ▶ 125.5%

「将来負担比率」とは、一般会計等の借入金(地方債)や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高が、標準財政規模を基本とする額に占める割合を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示すものです。

令和元年度決算の比率は、125.5%で、早期健全化基準である350.0%を下回っています。

平成30年度決算での比率(118.9%)と比較すると、6.6ポイント上昇しました。

公営企業(水道、病院など)の資金不足はどのくらい？

資金不足比率

⑤ ▶ 資金不足が発生している会計はありません

「資金不足比率」は、公営企業会計の資金不足額が、公営企業の事業規模(通常の営業で見込まれる1年間の収入の額)に占める割合です。

令和元年度決算では、対象となる会計の全てにおいて、資金不足は発生していないことから、資金不足比率は「無し」となっています。

ほっと エッセイ

富山市長 森 雅志

No.177 「少年よ大志を抱け」で思うこと

タイトルの言葉は、あのクラーク博士の言葉である。クラーク博士は札幌農学校の初代教頭として日本に招かれ、アメリカ式の教育プログラムを導入し、非常に高水準な教育を実現したとされている。赴任期間を終えた彼は翌年に日本を離れることになり、農学校を去るときに学生たちに向けて馬上からかけた言葉が「ボーイズビーアンビシャス」であった。それが「少年よ大志を抱け」と翻訳され、若者たちへの激励の言葉となっていったとされている。

ところが、この時の挨拶については正確な記録がなく、「お金や欲望、名声のためではなく、人としてなすべきことのために大志を持ちなさい」というものであったという説もある。しかし、馬上でこんなに長い挨拶をするのは不自然だとして、この説は信憑性が低いとするのが大勢である。また、教え子だった人が「みんな私のように野心的でありなさい」と言ったと紹介している記録もある。さらには、別れ際に「まあ、お前ら頑張れよ！」という程度の軽い言葉だったという推察もある。

人の口から出た言葉というものはこの例に見られるように独り歩きしがちである。発言者の知らないところで思いもしない意味付けがされることもある。僕自身も真意とは全然違う意味の発言と受け取られて閉口したことがある。会話音として発した言葉が活字化されると微妙にニュアンスが変わったり、同音異義語として受け取られることもあるのだ。今は、勝手に録音されて加工されることさえあるのだから、もうお手上げ状態である。まあ、自らの真意は一つしかないのだ

から、周囲の騒音など無視すれば良いと思っている。

一方では、ある言葉の意味について自分の理解とは全く違う解釈があることを知り驚かされることもある。例えば藪医者という言葉である。一般には、適切な診療能力を持たない医師を指す蔑称であろう。ところが、藪医者ではなく「養父医者」と書き、名医を指す言葉なのだとする解釈があるらしい。但馬国の養父にいたという名医が語源であり、その人の名声を悪用して「養父医者」の弟子を語るものが続出して、「養父医者」の評判が悪くなり「藪医者」に変化したのではないかとする説である。兵庫県の養父市では、へき地医療をする若手医師を対象にした「やぶ医者大賞」という表彰をしているそうだ。面白い。

また、いろいろな解釈があって、よく論争になるのがダーウィンの次の言葉である。「強いものが生き残るのではなく、賢いものが生き残るのではない、唯一生き残るものは変化できるものである」という言葉。実に奥が深い。現状に満足することなく絶えず自らを変化させることが大切だという戒めの言葉のようであり、生き残るためには変化のための努力を怠るなど言う意味にもとれる。ところが最近よく言われる解釈は次のようである。「生物の同じ種の中でも個体によって形質にばらつきがある。例えば長身のものが有利な環境に暮らすと長身の個体が長生きをして子孫をたくさん残す、結果として環境により適応した形質を持つ個体が増えていくことになる」という説だ。つまり、ダーウィンの進化論は、ある集団にどんな変化が起こったかということに視座があるのであり、個体の話ではないということだ。言い換えれば、環境に適応した個体がより良い子孫を残し、強い集団を形成していくということだ。集団を組織と置き換えて考えてみよう。環境や時代に適応して変化できる個体をたくさん持つ組織が強くなるということだろう。年老いた僕にはそんな適応能力はない。適応能力を持つ組織を牽引できる、そして組織力を最大化できる新しいリーダーの出現こそが必要なのだ。それが組織を変化させることに繋がるからである。

いずれにしても言葉使いは難しい。だからこそ面白いのだけれども。

今月の 広報クイズ

地産地消の推進や地域経済の回復を目的とした「〇〇〇・和牛等を楽しもうキャンペーン」が始まります。

〇に入る文字は？

答「〇〇〇」

ハガキかEメールで、答と郵便番号、住所、氏名、年齢、連絡先(電話番号かメールアドレス)と「広報クイズ応募」と書いて、広報課(〒930-8510 新桜町7-38)へ(1人1通)。

広報とやまに対する意見・感想もお待ちしております。

締め切り▶10月15日(木)(必着) [E]kouhou-01@city.toyama.lg.jp

賞品▶500円分の図書カード(抽選で5人)

当選発表▶賞品の発送で代えさせていただきます。

前月の答え 地域包括支援センター 前月の応募総数 233件(正解数226件)



今月の
放送日

10月25日(日)11:45~

放送局

KNB 北日本放送(1ch)

テーマ「新たな賑わい創出 富山駅北エリア」

ブルーパールの再整備など、富山駅北エリアの賑わい創出の取り組みを紹介します。



富山駅北ブルーパール▶

市ホームページ(まちづくり・市政)⇒インフォメーション⇒とやま情報局